

過疎地域の戦略的住宅マスタープラン施策の報告 - 徳島県上勝町の事例より -

日本建設コンサルタント（株）・正会員 澤田俊明＊、上勝町まちづくり推進課 花本靖＊＊
 徳島大学工学部・正会員 山中英生＊ ＊ ＊、徳島大学工学部・正会員 滑川達 ＊ ＊ ＊
 （有）環境とまちづくり・正会員 ○花岡史恵 ＊ ＊ ＊ ＊

1. はじめに

近年の中山間地域においては、少子高齢化の進展、過疎化、後継者不足、木材価格の下落に代表される地域産業の衰退などの、従来からの中山間地における諸課題が、より一層顕在化してきた。これら中山間地特有の諸課題に加えて、地球温暖化等の環境問題、構造的な社会的人口減少に起因する社会的体力の弱体化、産業衰退、財政難などの、国家的諸課題が、新たに中山間地域でも既に顕在化してきた。

ここでは、これらの諸課題を有する人口約 2100 人の徳島県上勝町における戦略的住宅マスタープランの策定状況について報告する。

2. 住宅マスタープラン概要

（1）計画策定の方針

上勝町住宅マスタープランでは、“素晴らしい上勝町に人々が住み続けられる計画”として、多くの人の知恵や合意のもと、上勝町の持続可能な地域発展をみらい、経済発展・エコロジー発展・コミュニティ発展に資する戦略的な地域居住施策・地域住宅施策の策定がなされている。ここで、「戦略的」の意味は、的確な判断による、効果的な施策の立案、施策間の密接な連携、施策の絞り込み＝重点化、を意味している。

（2）策定の経過

表 2 に上勝町住宅マスタープランをめぐる経過を示す。上勝町住宅マスタープランの策定にあたり、学識経験者・専門家・住民・行政関係者等による「検討委員会」、「WS（ワークショップ）」、個別検討テーマを対象とした「セミナー＆ミニWS」を、それぞれ 3 回開催された。また、表 2 に示す、一連の複合的な参加の場における人的交流の中で、2003 年 1 月より徳島大学総合科学部と上勝町の間で、住宅マスタープランや他の上勝町施策と連携する「地域連携プロジェクト」がスタートした。

表 2 上勝町住宅マスタープランをめぐる策定の経過
 （印は、関連の動きを示す、WS はワークショップの略）

時期	内容
2000 年	上勝町新振興計画策定、上勝町全町町民懇談会実施
2001 年	上勝町全町地域懇談会実施（WS 方式、17 回開催）
2001 ~ 2002 年	徳島県・千年の森づくりWS、於上勝町・全 6 回
2002 年 11 月	13 日 第 1 回セミナー＆ミニWS（グリーンキー）
12 月	19 日○第 1 回WS 24 日●第 1 回委員会
2003 年 1 月	14 日 徳島大学総合科学部・上勝町地域連携会議 23 日○第 2 回WS 31 日●第 2 回委員会 25 日 第 2 回セミナー＆ミニWS（過疎地の IT 居住）
2 月	15 日 第 3 回セミナー＆ミニWS（参加型間伐住宅） 15 日 上勝まちづくり情報交流会
3 月	14 日 徳島大学総合科学部・上勝町地域連携会議 06 日○第 3 回WS 17 日●第 3 回委員会 29 日 徳島大学総合科学部・上勝町地域連携シンポ

表 1 計画策定の基本方針

上勝町全域を対象とし、【持続的かつ総合的な住宅施策・居住環境施策等】について、【基本方針・ハード施策・ソフト施策】について策定
上勝町全域を対象とした【産業振興・雇用環境づくり】に寄与する計画を策定。
上勝町に既に存する公共及び民間の【既存建物ストック】の活用を考慮
「実体（ものづくり・プランづくり）のデザイン」「利用・活動・雇用のデザイン」「人づくり・組織づくりのデザイン」「維持管理・リスク管理」「参加・場のデザイン」に留意
地域住民との連携・協働・主体性を重視して P I を導入

表 3 住宅マスタープラン・ワークショップの概要

WS	検討テーマ
第 1 回 2002 12.19 17 名参加	上勝町の課題とこれまでの取り組みの経過 今回計画の概要と視点 主な戦略的施策に関する意見交換
第 2 回 2003 1.23 18 名参加	住宅配置の考え方 住宅マスタープランにおける優先施策 計画のターゲット層
第 3 回 2003 3.06 19 名参加	住宅マスタープランにおける優先施策 拠点ゾーンの整備施策 今後の推進スケジュール

【キーワード】過疎地、住宅マスタープラン、戦略施策、ワークショップ 【連絡先】＊770-0802 徳島市吉野本町 1-14、TEL088-655-3248、FAX088-655-4763、＊ ＊徳島県上勝町福原下横峰 3-1、TEL08854-6-0111、FAX08854-6-0323、＊ ＊ ＊770-8506 徳島市南第三島町 2-1、TEL088-656-7350、FAX088-656-7579、＊ ＊ ＊ ＊771-4501 徳島県上勝町福原川北 30、TEL08854-4-6290、FAX08854-4-6291

3. 住宅マスタープラン施策の概要

表2に示す経過を経て策定された、住宅マスタープランの施策（案）を表4、表5、図1に示す。

表4 計画目標（案）と施策の体系（案）

●計画の目標（案）
1. 現在、上勝町に住んでいる人が、将来も住み続けられること
2. 将来、上勝町に住みたい人が、新たに上勝町で住めること
3. 上勝町への訪問者が、上勝町民と共に心から交流できること
4. 上記で、環境・経済と雇用・コミュニティを守り育てること
5. 世界的視野での、新たな農山村居住ライフスタイルを確立し実践すること
●施策の体系（案）
1. 新たな農山村居住のための基盤整備
2. 新たな農山村居住のための仕組みづくり
3. 新たな自活の上勝ライフスタイルの創造と実践

表5 主要施策（案）

1. 住宅整備・居住環境整備	通勤居住・集落再生居住による施策展開／住宅ストック・ニーズ調査、ほか
2. IT環境整備	IT基礎調査／IT整備プログラムづくり／SOHO環境整備／IT医療推進、TV受信環境整備、ほか
3. 総合交流拠点整備（福原地区）	コミュニティビジネス推進／参加型拠点ゾーン計画／社会実験の実施、「棚田デジカメ」PG、ほか
4. U・Iターンシステム整備、実施	Uターン・Iターンシステム整備（仕組み、メニュー、パッケージづくり）／Uターン・Iターン施策実施、ほか
5. 参加型集落再生	参加型集落再生プログラムづくり／参加型集落再生プログラムの実施／人材確保・育成ほか
6. 住民協働の居住環境づくり	組織づくりと支援／NPO、有限会社など定住促進組織づくり支援／行政参加の仕組みづくり、行政の役割、支援の方法、など
7. 森林資源の需要・開発	参加型・間伐居住施設づくり仕組みづくり／スギ・ヒノキ需要開発：木の香りコンペ、ほか
8. 上勝文化居住環境の整備	資源活用施策の推進：棚田居住施策推進、彩り居住施策の推進／資源創造施策の推進：参加型野外環境彫刻施策の推進／上勝文化居住WS開催、他
9. 居住・交流プログラムの推進	自然体験交流、環境保全交流、いやし文化交流、活動ネットワーク交流、定住化交流、産業創出交流
10. 戦略的・情報発信	戦略立案、戦略的情報発信・施策実施 ホームページ作成・管理、ほか

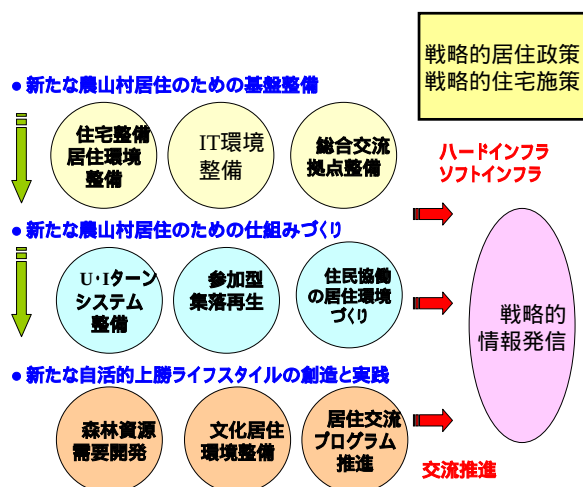


図1 施策関連図

4. 個別施策（案）

ここでは表5の主要施策（案）の一部を紹介する。

(1) 住宅整備・居住環境整備（案）

上勝町は、5つの居住地区からなる。それぞれの居住地区で人口減少が進展しているため、集落再生居住と通勤居住による住宅整備・居住環境整備を進める施策（案）となっている。

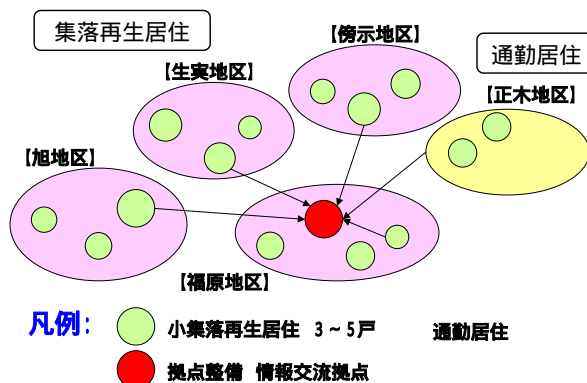


図2 住宅・居住施策の骨格イメージ図

(2) 居住交流プログラム（案）

居住交流プログラム（案）は、上勝町における居住資源の活用と創造からなり、参加型・体験型・学習型・創造型・雇用創出型の「動的なプログラム」として計画されている。居住交流プログラム（案）の目標を表6に示す。

表6 居住交流プログラムの効果（目標） 単位 人／年

プログラムの種別	交流人口	定住人口	半住人口
A 自然体験交流	2,800	4	4
B 環境保全交流	1,200	30	30
C いやし・文化交流	23,200	15	15
D 活動ネットワーク交流	1,200	1	1
E 定住化交流	100	20	20
F 産業創出交流	1,500	30	30
計	30,000	100	100

5. おわりに

過疎化が一層進展する上勝町において、持続可能な地域づくりを目的として策定されている戦略的な住宅マスタープランについて示した。今後の展開に向けて、自然の活用・自由時間の活用・自分の活用に着目した「新たな自活の上勝ライフスタイルの創造と実践」が推進の鍵になると思われる。